品質カイゼン室の花のソコが知りたい!



花持ちに定評があり、冠婚葬祭には欠かせないデンファレ。ランの中でも流通量が 多く、切花として最もよく利用されています。

基本データ

学名 Dendrobium phalaenopsis

分類 ラン科 デンドロビウム属

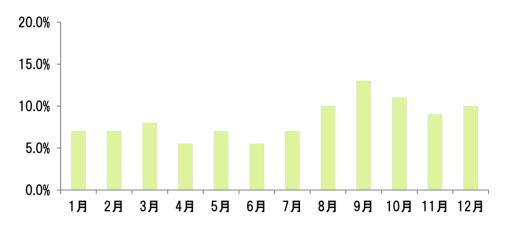
原産地 熱帯アジア



正式名称はデンドロビウム・ファレノプシスであり、それを略したデンファレの名前で 流通しています。デンドロビウムとファレノプシスの交配で出来たのではなく、花びら がコチョウランに似ていることからつけられた名前です。

年間の入荷量の推移

一年中いつでも入荷があり、9月が最も多くなっています。





主な生産地

輸入:タイ 国内:沖縄県

9割以上が輸入であり、内99%がタイからです。 沖縄県では少量、周年で流通しています。



栽培

今回は国産の栽培方法に注目したいと思います。

1 年を通して暖かい気候を好みます。冬の寒さに弱いので気を付けます。主な開花期は、9 月~11月ごろとなります。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状態	生育休止			生育						生育休止		
										開花期		
主な作業				植え付	け、植え	を替え						
				三世人	-10				三五	上り		

○水管理○

年間を通して表面が乾いたらたっぷりと与えます。 冬の低温時は根腐れをおこしやすいので、与えすぎない よう注意し、乾燥気味にします。

○温度管理○

18℃~20℃以上が目安です。15℃を切ると葉が落ちることがあります。輸送中の低温障害にも注意する必要があります。

○高芽とり○

春か秋が適期ですが、根が 3cm 以上伸びていればいつでも高芽とりができます。取った高芽を他の鉢に植え付け、新しく株を増やすこともできます。





○肥料○

新芽が動き出したら液体肥料を月に2回 ほど施します。肥料をあげすぎると栄養成長 に切り替わり、花芽が高芽になってしまい ます。また、新芽が伸びる余地がなくなった ら株分けをしてしっかりと肥料を吸わせ ないと、花茎が長く伸びません。

○収穫・出荷○

花茎先端部の2~3輪が蕾のときに収穫します。 花被が萎れやすく、花穂のみで輸送されます。 そのため、切り口にウォーターピック等をつけ て輸送されます。

平たく箱詰めされるので、花びらが折れて傷まないよう注意が必要です。







病虫害

○灰色カビ病○

やや温度が低い多温時に発生します。繁殖力が強く、花弁やつぼみ、茎や葉など にカビが生え、腐敗します。

〇炭疽病〇

主に葉に褐色の病斑が発生し、やがて腐敗します。風通しを良くし、発病した葉は取り除きます。

OカイガラムシO

葉の付け根などにつくことがあります。見つけ次第取り除きます。



- 花持ちは約2週間です。
- ・水揚げはとてもよいです。咲いている花は長持ちしますが、先端のつぼみは 咲かずに黄変して落ちることがあります。
- ・花持ちは長いですが、エチレンに対する感受性が高く、受粉によりエチレン 生成量が増加します。それに伴い、花被の萎凋が急激に進み、受粉後数日 以内には観賞価値を失ってしまいます。
- 糖質と抗菌剤の連続処理により品質保持効果が高くなるため、切花栄養剤 を使用することがおすすめです。

品種













ルーシーピンク

プリティミサキ

マリーホワイト

カラーバリエーションが豊富で日持ちも長いので、 装飾花など様々な場面でお楽しみください!

参考文献

農山漁村文化協会 発行 「農業技術体系 花卉編 12」 宇田明 桐生進 著 「花屋さんが知っておきたい花の小事典」 市村一雄 著 「切花の鮮度・品質保持 基礎と実践」



株)大田花き 品質カイゼン室

